

## ○ ご家族の安否確認の方法を確認していますか？

- ・ undanから、自宅・学校・職場の近くや、通勤通学途中にある避難所の場所をご家族で確認
- ・ ご家族で安否確認の方法を話し合い、災害用伝言ダイヤル171や災害用伝言サービスを練習

## 【 地震発生時 】

- 1 あわてず身の安全を確保・・・机の下、安全ゾーンへ  
↓  
( 揺れが収まったら )  
↓
- 2 火を止める
- 3 ドアや窓を開けて脱出口を確保
- 4 非常持出品を手元に
- 5 ラジオなどで正確な情報を確認
- 6 家族の安否確認
- 7 在宅避難生活へ（損壊、火災が発生した場合は避難所へ）

※ 震度6以上の地震の場合、破損により下水道が使える可能性がありますので、管理組合から連絡があるまで、絶対に風呂水、炊事水、トイレの水など排水しない



そして、ご自分・ご家族の安全が確保されたら、**共助：互近助**へ

災害が発生したときは、「自助」、ご近所の皆さんが助け合う「共助：互近助」こそが、被害を少なくするための**大きな力**になります。「互近助」の力は、互いに顔の見える関係になることでより一層大きくなります。日ごろからの挨拶や、サークル活動、自治会等のイベントへの参加など心がけることが、いざという時の備えにもなります。

大地震などの災害が発生した際、防災団は「災害対策本部」を設置して初動対応（安否確認や救出救護、避難誘導、給食・給水など）にあたりますが、スカイタウンも高齢化が進み、助けが必要な方々が増えています。若い方、動ける方は、ご家族などの安全が確保されたら、是非、本部の応援をお願いします。

なお、防災団（自治会・管理組合）では、水・食糧の備蓄のほか、停電時の井戸・貯水槽からの水の供給のための発電機、簡易屋外トイレ、イーバック+チェアミニ（災害・非常用階段避難車）、担架などを「共助」のための災害用備品として確保しています。